

# 大学院における教員の長時間労働

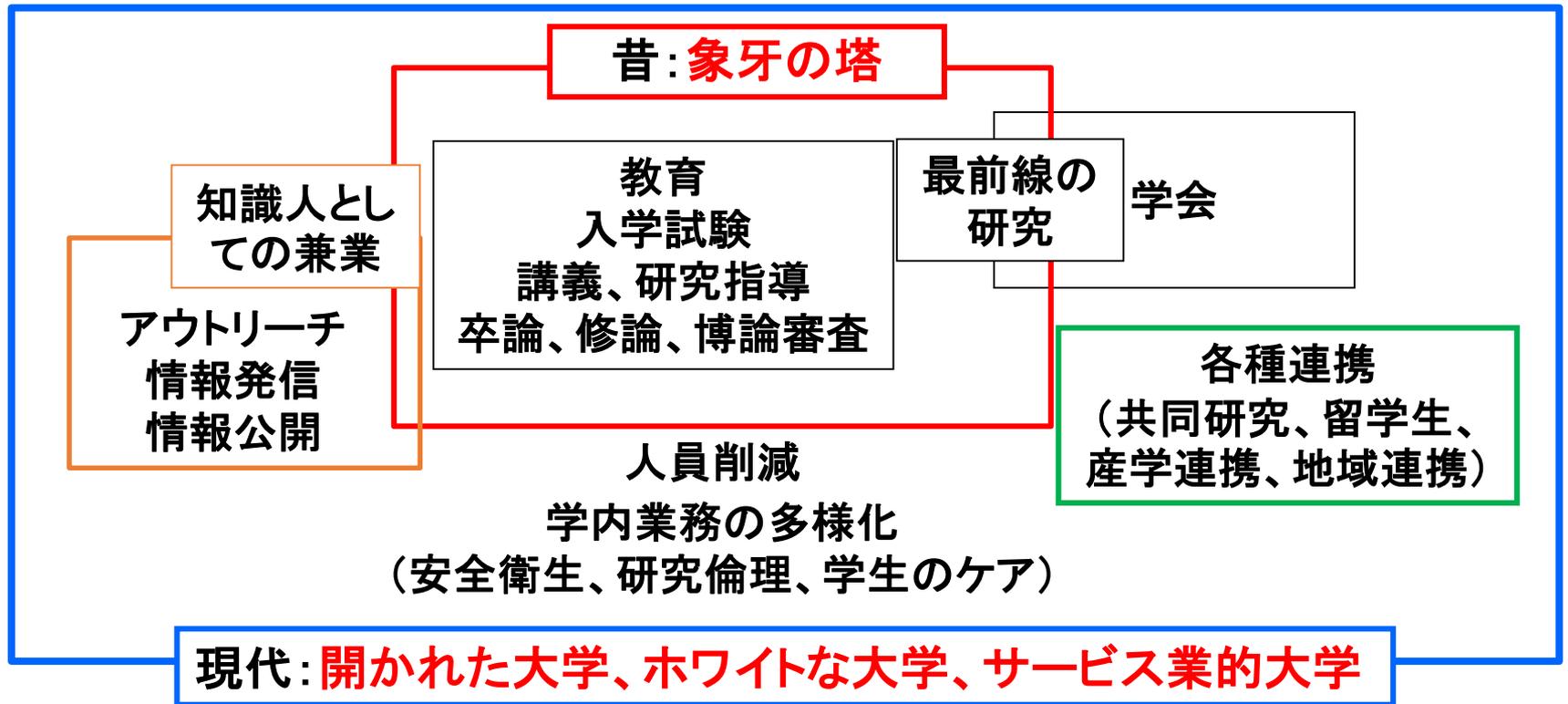
東京大学 江尻晶

## 内容

- 大学の業務の多様化と裁量労働制
- 過去のアンケートの解析結果[1]から  
理系研究者の在職場時間、自宅仕事時間

[1] 2012年に行われた「第3回 科学技術系専門職の男女共同参画実態調査」男女共同参画学協会連絡会(2013)」からの抜粋データ(動物学会、生物物理学会、物理学会所属者のデータ)を解析した。

# 変わりゆく大学(業務の多様化)



日本の大学の問題:

小講座という小さな  
組織で分業が難しい



専業・兼業  
連携

## 裁量労働制

勤務時間を自由にできる。実労働時間は自主報告  
(実質的には何も変わらない)

学生の都合に合わせてと休日深夜の区別がなくなる。

# 在職場時間—自宅仕事時間

## Work & Life

男女、分野、家庭の  
状況等で大きく異なる  
総仕事時間 = 在職場  
時間 + 自宅仕事時間  
を一定にしようとする  
傾向があることが分  
かった。

